

2023年(令和5年)度
自己推薦型入学試験 問題
英語検定型入学試験 A日程 問題
小 論 文

2022年10月22日 実施

【解答上の注意】 答えは別紙解答用紙に、左横書きで書いてください。

この問題用紙の余白や裏面を下書きなどに利用してもかまいません。

《課題文》

言葉に寄りかからず、具体的な状況の中で考える。私が強くそう念じる背景にあるのは、実際に、気になって警戒している言葉があるからです。

それは「多様性」という言葉です。あるいは「ダイバーシティ」「共生」といった言葉もそう。延期になった東京オリンピックの大会ビジョンに始まり、企業の広告や大学のパンフレットなど、いまあらゆるところでこの言葉が使われています。便利で、私自身も止むを得ず使ってしまうことがあるのですが、この氾濫ぶりは異常だと思います。

もちろん、人が一人ひとり違って、その違いを尊重することは重要です。「多様性」の名の下に行われている取り組みには、こうした違いを尊重し生かすことに貢献するものもあるでしょう。しかし、「多様性」という言葉そのものは、別に多様性を尊重するわけではない。むしろ逆の効果すら持ちうるのではないかと感じています。

重度障害を持つ国会議員に対する批判、あいちトリエンナーレの企画展に対する抗議・脅迫と展示中止、冷え切る日韓関係。現実の日本で進んでいるのは、多様性の尊重とは真逆の、分断の進行です。

そこにいったいどんな寛容の精神や生きた優しさがあるのでしょうか。私は2019年の半年間、在外研修でボストンに暮らしていたのですが、帰国して一番違和感を覚えたのはそのことでした。街中を覆う「多様性キャンペーン」と、実態として進む分断。誰もが演技をしているように見えてゾッとしたことを覚えています。

もしかすると、「多様性」という言葉は、こうした分断を肯定する言葉になっているのかもしれない、とそのとき思いました。多様性を象徴する言葉としてよく引き合いに出される「みんなちがって、みんないい」という金子みすゞの詩は、一步間違えば、「みんなやり方が違うのだから、それぞれの領分を守って、お互い干渉しないようにしましょう」というメッセージになりかねません。

つまり、多様性は不干涉と表裏一体になっており、そこから分断まではほんの一步なのです。「多様性」という言葉に寄りかかりすぎると、それは単に人々がバラバラである現状を肯定するための免罪符のようなものになってしまいます。

ウェストンは、「相対主義は反社会的な態度になりうる」と言います。「相対主義」とは、「多様性」という言葉が用いられるときの背景にあるような、「人間一般」「身体一般」「他者一般」のような絶対的なものを疑い、さまざまな価値の違いを尊重しようとする考え方のこと。すでに述べたように、多様性の尊重そのものは大前提として重要であり、その意味では相対主義は不可欠な視点です。けれどもそれが「他人のことには干渉しないようにしましょう」という自己弁護につながる時、ウェストンはそれが反社会的なものになると言うのです。

相対主義の決まり文句「他人のことに口を出さず」は、それゆえ、反社会的な態度となる。思考を停止させるだけではない。社会全体が関わってくる問題の場合には、そこにおいてどれほど意見が異なっていようと、なお理を尽くして、お互いを尊重しつつ、なんとかして協調していけるよう道を探らねばならないのに、この決まり文句によって、そこから目をそらしてしまうのだ。……倫理とは、「他人のことに口を出さず」が問題解決として役に立たない——どれほど意見が分かれていますとも、一緒に問題を解決していかなければどうしようもない——まさにそのような問題に照準を当てたものだということになる。私たちは、ともに生きていかなければならない。だから、なおも考え続け、語り続けねばならない。これこそが、倫理そのものであり、倫理的にふるまうことにほかならない。

つまり、多様性という言葉に安住することは、それ自体はまったく倫理的なふるまいではない。そうではなく、いかにして異なる考え方をつなぎ、違うものを同じ社会の構成員として組織していくか、そこにこそ倫理があると言うのです。

(伊藤亜紗『手の倫理』より)

《問題》

課題文を読み、以下の指示に従って答えなさい。

(1) 「多様性」という言葉そのものは、別に多様性を尊重するわけではない。

むしろ逆の効果すら持ちうる」のはどうしてかについて、200字以上300字以内で解答欄①に書きなさい。

(2) 次の問いへの答えを、300字以上500字以内で解答欄②に書きなさい。

問：なぜ、相対主義が反社会的な態度になりえるといえるのか。